

2019年10月9日

健診での要精密検査該当者に対する受診勧奨手段変更の効果

◆研究の目的と概要◆

この研究は、倉敷中央病院附属予防医療プラザにおいて健診を受けられた方のうち、要精密検査に該当された方を対象に、医療機関への受診行動を促すように介入することで、受診率向上を目指し、今後のよりよい予防医療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

この研究の対象者は予防医療プラザにおいて2018年8月23日～2018年9月26日、2019年8月23日～2019年9月26日の期間で健診を受け、健診結果に対し要精密検査と判定された方のうち、積極的な介入が必要な方です。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、BMI、生活習慣、要精密検査所見、医療機関受診状況

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録、健診データを利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院附属
予防医療プラザ

研究責任者 山縣 麻理子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明